

※痛みや出血があっても、途中で止めたくない気持ちから黙っている場合も
ありますので、いつもと違う様子がうかがえたら声をかけてみましょう。



アテンション・メモ

体育の授業で行われる運動・スポーツは必要な対策をしておけば、原則として制限なくよいと考えられています。当日の朝は予備的補充療法を行い、十分な準備体操を必ず行いましょう。授業が終わってからのアイシングは、筋肉や関節の炎症を抑えるために習慣付けておくとい良いでしょう。

ただし、症状や関節の状態によって、また種目によっても異なりますので、参加できるかどうかを事前に主治医とご相談ください。血友病患者さんがサッカーを行う時の注意点については、ECHO46号

(<http://www.bayer.co.jp/bj/hemophilia/05/index.html>)もご参考ください。

